

「防風林に関するアンケート」調査結果（概要）

【十勝総合振興局森林室普及課】

十勝総合振興局森林室では、令和3年度より「十勝を守る防風林の維持促進の取組（令和3～5年度振興局独自事業）」を実施しています。

取組内容については、R3はアンケート調査・分析、R4は普及啓発パンフレットの作成・配布、R5に技術指導等を実施することとしており、今回は、R3のアンケート調査結果の概要について報告します。

1 調査の概要

【調査目的】 近年減少が危惧されている十勝の防風林について、防風林に対する農業者の意識や更新されない要因を把握するため

【調査期間】 令和3年（2021年）8月中旬～10月末日

【調査対象】 主に十勝管内の各農協青年部会員（1147人）

【調査方法】 北海道農業協同組合中央会帯広支所から、十勝管内各農協青年部事務局経由にて青年部会員へアンケートフォーム（QRコード）をメール等により配信（パソコンやスマホで回答）

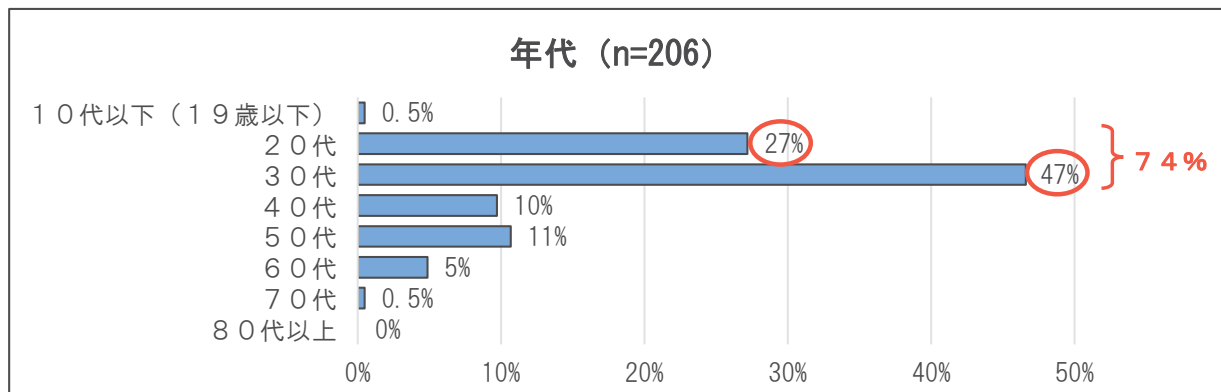
【回答者数】 206人

【調査項目】 防風林の現状、重要性の認識、課題や問題点、今後の取り扱い等、全17項目

2 調査結果の概要（抜粋）

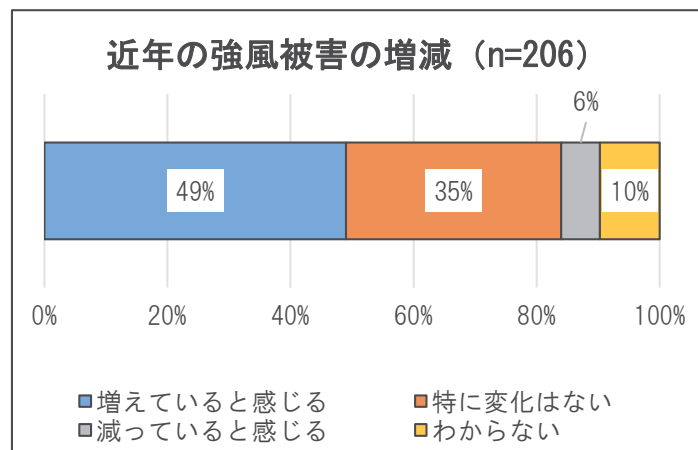
（1）あなたの年代を教えてください

○回答者の年代は、青年部会員を主な調査対象としたため、20～30代が74%を占めた。（農協によっては青年部に年齢制限がない場合もあり、若い年代が中心である一方で、高い年代からの回答も得た。）



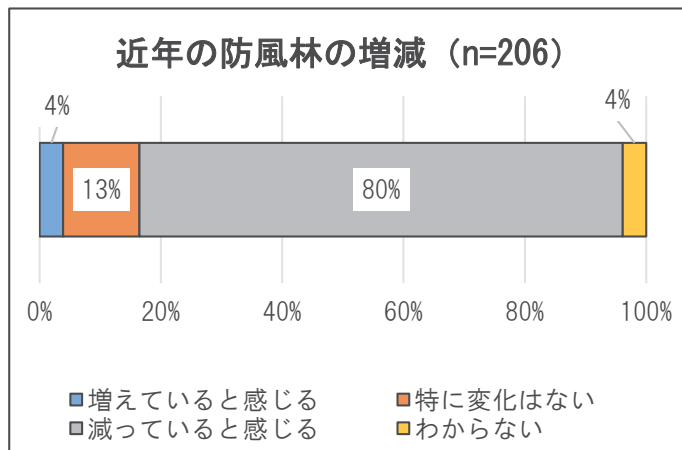
（2）あなたの地域における近年の強風被害の増減について、どのように感じていますか？

○「増えていると感じる」と回答した人は、49%と約半数を占めた。



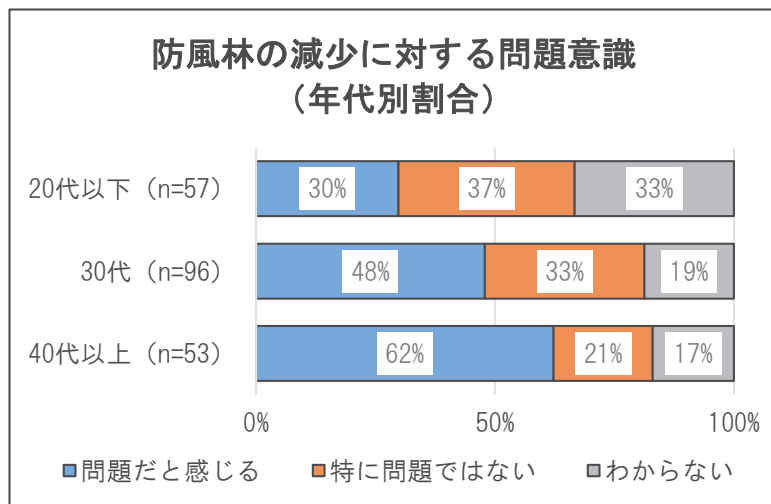
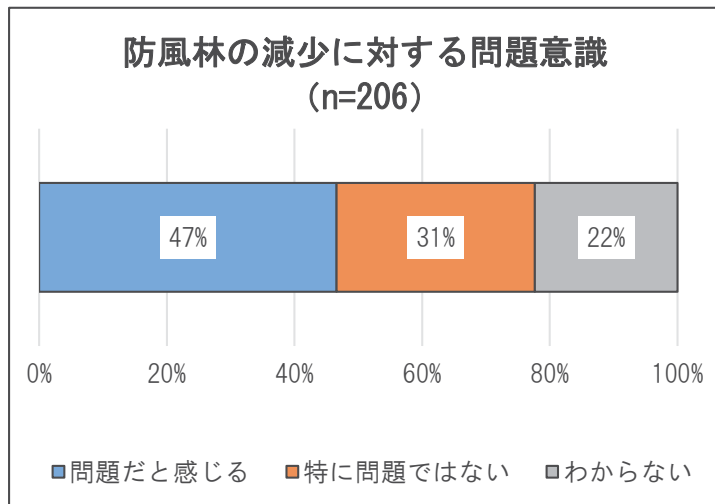
（3）あなたの地域の近年の防風林の増減について、どのように感じていますか？

○「減っていると感じる」と回答した人は、80%と圧倒的に多かった。



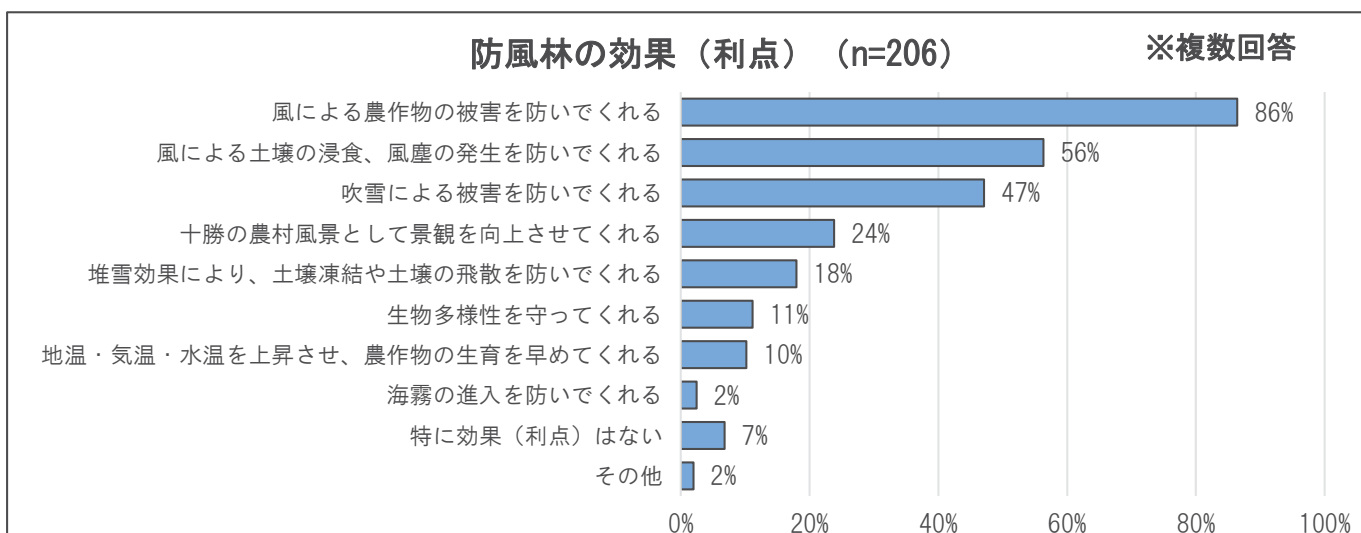
(4) あなたの地域で防風林が減少することは、問題だと感じますか？

- 「問題だと感じる」と回答した人は、47%と約半数を占めた。
- 年代別割合では、年代が若くなるほど、防風林の減少に対する問題意識は低い傾向があった。



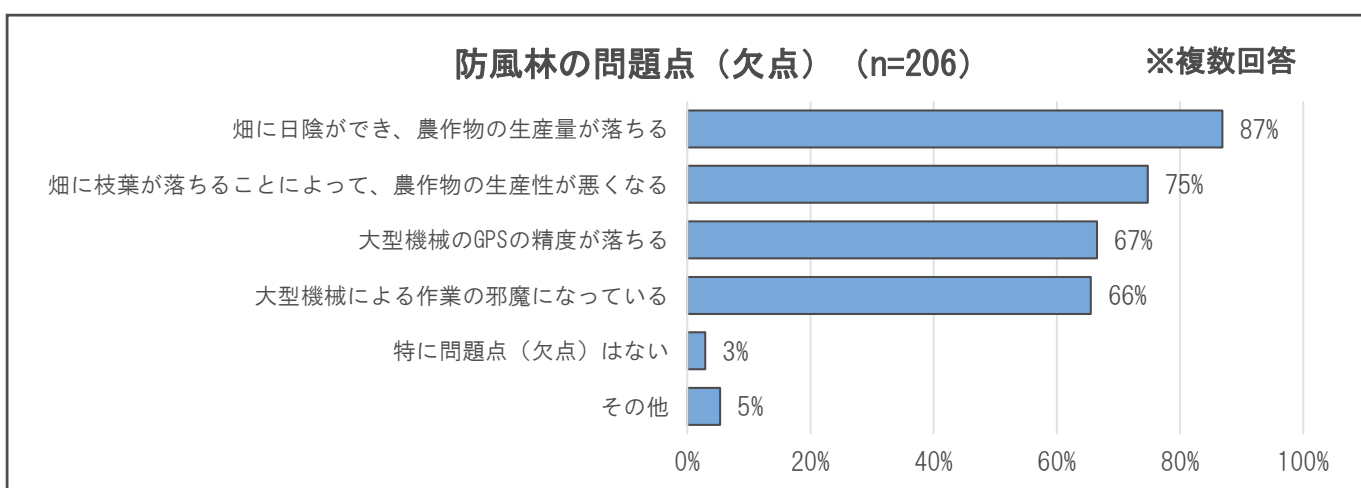
(5) 防風林の効果(利点)について、あなたが感じているものを選んでください

- 「風による農作物の被害を防いでくれる」との回答が86%と最も多く、次いで「風による土壌の浸食、風塵の発生を防いでくれる」が56%、「吹雪による被害を防いでくれる」が47%であった。



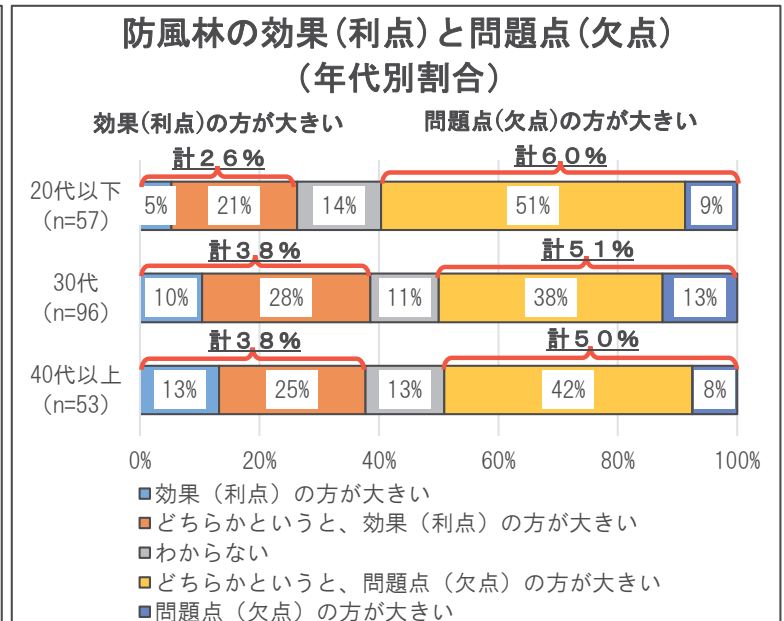
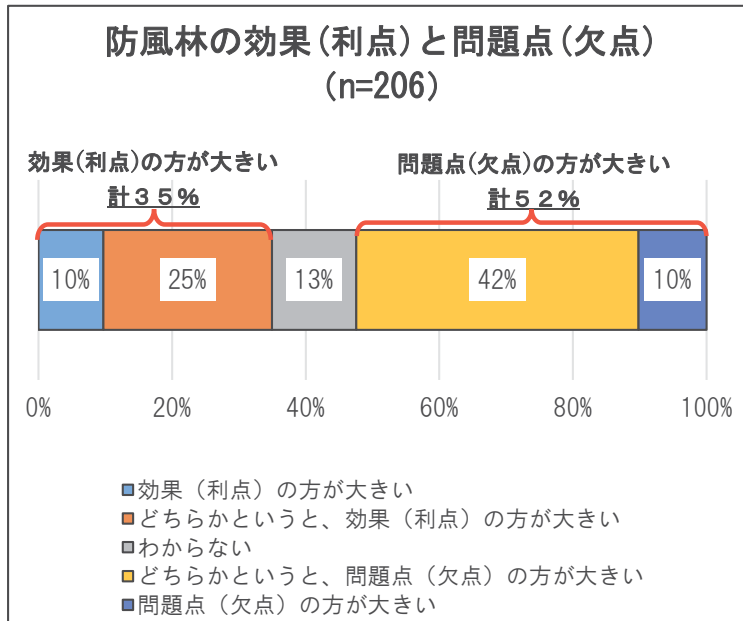
(6) 防風林の問題点(欠点)について、あなたが感じているものを選んでください

- 「畑に日陰ができ、農作物の生産量が落ちる」との回答が87%と最も多く、次いで「畑に枝葉が落ちることによって、農作物の生産性が悪くなる」が75%、「大型機械のGPSの精度が落ちる」が67%、「大型機械による作業の邪魔になっている」が66%であり、問題点(欠点)を表す全ての項目で高い割合となった。



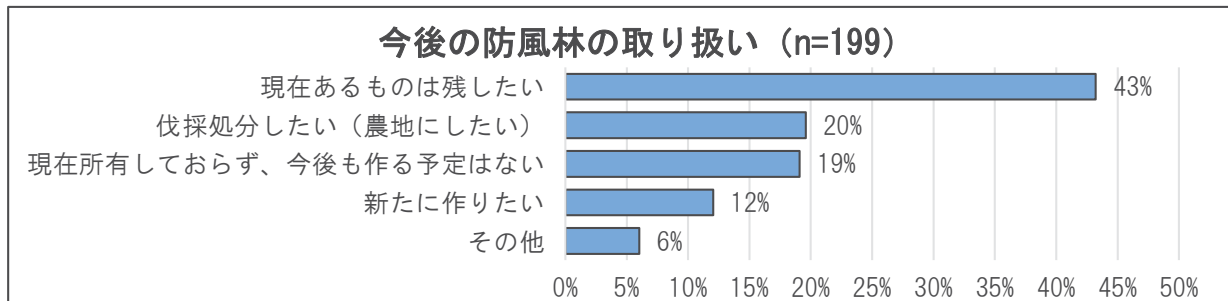
(7)あなたは防風林の効果(利点)と問題点(欠点)について、どちらが大きいと感じていますか？

- 「効果(利点)の方が大きい」「どちらかというと効果(利点)の方が大きい」を含む、以下同様)と回答した人は、35%であった一方で、「問題点(欠点)の方が大きい」「どちらかというと問題点(欠点)の方が大きい」を含む、以下同様)と回答した人は、52%と多く、過半数を占めた。
- 年代別割合では、20代以下の若い年代で、他の年代と比べ、「効果(利点)の方が大きい」と回答した人は26%と低く、また、「問題点(欠点)の方が大きい」と回答した人は60%と高かった。



(8)あなたは今後の防風林の取り扱いをどのように考えていますか？

- 「現在あるものは残したい」と回答した人が43%と最も多く、次いで「伐採処分したい(農地にしたい)」が20%、「現在所有しておらず、今後も作る予定はない」が19%、「新たに作りたい」と回答した人は12%であった。



3 調査結果(総括)

- アンケートの結果、防風林の効果を理解している人が一定程度いた一方で、「畑に日陰ができ、農作物の生産量が落ちる」等の理由により、防風林には利点より欠点の方が多くと回答する人が多かった。
- 特に、20代以下の若い世代の農業者において、防風林の減少に対する問題意識を持っている人の割合が少なく、防風林には利点より欠点の方が多くと回答する人の割合が多いなど、防風林の効果・必要性の認識が十分に浸透していないことがうかがえる。
- 防風林の今後の取り扱いについては、防風林を「伐採処分したい(農地にしたい)」と回答する人の割合(20%)が、防風林を「新たに作りたい」と回答する人の割合(12%)を上回り、十勝の防風林が、この先減少していくことが懸念される結果となった。

4 今後の対応

今後、アンケート結果のさらなる分析や優良事例の調査を進め、防風林の利点に関して、特に若手農業者に対する効果的な普及啓発方法や、欠点の軽減方策を検討するなど、次年度以降の取組につなげていく。